

「わたしとは」

志布志市立安楽小学校 二年 永吉 千愛 なが よし ち あ

「ほんとうにぬかなきゃだめ。」

一年生のときに虫ばになり、おかあさんにつれて行ってもらったはいしゃさんと、わたしは言いました。はをぬくととてもいたくて、もう虫ばにはなりたくないと思ったのをおぼえています。

でも、二年生のわたしはひとあじちがいます。ことは、じぶんのはについてしらべてみることにしました。

まず、じぶんのはがなん本あるかしらべました。かがみを見たり、おかあさんと一しよに数えたりしてしらべると、ぜんぶで二十四本ありました。おかあさんが、

「赤ちゃんときは十六本だったんだよ。」と教えてくれました。今のほうが八本も多くなっている、はのせいちようは、はえかわるだけじゃないんだと知りました。

つぎに、はみがきをしなかったら、どうなるのかしらべました。はみがきをしないと、はにあながあいたり、はがぐらぐらしたりします。虫ばは、けっしてなおらないそうです。あなのあいたははともいたそうで、きよ年のことを思い出してはがちよつとずきりとなりました。わたしは、虫ばにならにためにはどうすればよいか考えてみました。

わたしは、一日二回はをみがいてピカピカにすればよいと思います。わたしの学校では、五月にはみがき教しつがあり、はいしゃさんからはみがきについて教えてもらいます。

教わったことの一つ目は、はブラシの毛がひらいていると、ははしつかりみがけないということです。

二つ目は、正しいみがきかたでみがくのが大せつだということです。

はみがき教しつでは、みんなではみがきをしながら正しいみがきかたを学びます。さいしよにはにくすりをぬってみがきのこしのところを赤くそめます。うがいをしたら、じゅんびはばつちり。わたしも手ががみで、じぶんのはを見てみました。まつつかかです。きゆうしよくのあとにはみがきをしたのに、こんなにみがきのこしがあるのかとびつくりしました。たてみがきとよこみがきで分けてみがくというお話を聞きながらいてねいにみがくと、だんだん赤色がなくなってきました。はブラシの毛はごうかくだったけれど、今まではていねいにみがけていなかったことが分かりました。

六月、学校ではみがき大会があり、ほけんいん会から、みがきかたをしんさしてもらいました。わたしは、はみがき教しつで学んだことを思い出しながらみがき、はみがきチャンピオンのメダルをもらうことができました。いえにはしつてかえって、おかあさんにメダルを見せると、

「すごいね。はみがきが上手になったね。」と言われました。わたしは、これからも元気なはずごせるよう正しいはみがきをつづけていきたいです。今のはも、これから生えてくるはも、じようぶなはになあれって。